

2016年度第1四半期連結決算（国際会計基準）

(単位:億円)

損益の状況	2016年度 第1四半期実績	2015年度 第1四半期実績	前年同期比		2016年度 業績予想 (5月10日公表)		進捗率(%)
				増減率(%)			
売上高(*1)	27,917	33,423	▲ 5,506	▲ 16%	125,000		22%
売上総利益	1,586	1,864	▲ 278	▲ 15%	6,550		24%
販売費及び一般管理費	▲ 1,258	▲ 1,333	74	-	▲ 5,500		-
貸倒引当金繰入額	▲ 10	▲ 17	7	-	▲ 50		-
営業利益(*1)	318	514	▲ 197	▲ 38%	1,000		32%
支払利息(受取利息控除後)	▲ 45	▲ 43	▲ 2	-	▲ 300		-
受取配当金	36	50	▲ 14	-	150		-
有価証券損益	▲ 3	88	▲ 90	-	▲ 100		-
固定資産損益	24	▲ 30	54	-			
その他の損益	66	▲ 21	87	-			
持分法による投資損益	247	304	▲ 57	-	1,150		-
税引前利益	642	861	▲ 219	▲ 25%	1,900		34%
法人所得税	▲ 147	▲ 134	▲ 13	-	▲ 550		-
四半期利益	495	727	▲ 232	▲ 32%	1,350		37%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	484	710	▲ 226	▲ 32%	1,300		37%
非支配持分に帰属する四半期利益	11	17	▲ 6	-	50		-
収 益	18,706	20,216	▲ 1,509	▲ 7%			
実態営業利益(*2)	328	531	▲ 203	▲ 38%	1,050		31%
基礎収益(*3)	565	842	▲ 277	▲ 33%	2,050		28%

(*1) 「売上高」は、取引形態の如何にかかわらず当社及び連結子会社の関与する全ての取引を含んでおります。
「売上高」及び「営業利益」は、投資家の便宜を考慮し、日本の会計慣行に従った自主的な表示であり、IFRSで求められている表示ではありません。
(*2) 実態営業利益=売上総利益+販売費及び一般管理費
(*3) 基礎収益=実態営業利益+支払利息(受取利息控除後)+受取配当金+持分法による投資損益

資産、負債及び資本の状況	2016年 6月末	2016年 3月末	前年度末比	主な増減要因	2017年 3月末予想 (5月10日公表)
総資産	66,311	71,177	▲ 4,866		-
(流動資産)	(29,540)	(31,626)	(▲ 2,086)	主に棚卸資産、持分法で会計処理される投資の減少	-
(非流動資産)	(36,771)	(39,551)	(▲ 2,780)	投資の減少	-
資本合計	12,888	14,152	▲ 1,264	資本合計	15,000程度
(株主資本)	(11,970)	(13,171)	(▲ 1,200)	円高による在外営業活動体の換算差額の減少	-
ネット有利子負債	26,154	27,625	▲ 1,471	ネット有利子負債	26,000程度
ネットD/Eレシオ(*4)	2.03倍	1.95倍	+0.08ポイント	主に円高による有利子負債の減少	1.7倍以下

(*4) ネットD/Eレシオ=ネット有利子負債/資本合計

キャッシュ・フローの状況	2016年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期 実績	主要指標の推移	2016年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期 実績	変動幅 (変動率)	2016年度 前提
営業活動によるCF	363	1,290	為替(YEN/US\$) 4月-6月平均	108.14	121.36	13.22円(11%)の円高	
投資活動によるCF	▲ 176	▲ 352	6月 末	102.91	122.45	19.54円(16%)の円高	113
フリーキャッシュ・フロー	186	939	JPY TIBOR(%) 4月-6月平均	0.070	0.171	0.101%(59%)の低下	0.2
財務活動によるCF	▲ 728	▲ 478	US\$ LIBOR(%) 4月-6月平均	0.643	0.280	0.363%(130%)の上昇	0.7
為替変動の影響	▲ 172	49	WTI(ドル/バレル) 4月-6月平均	46	58	12ドル(21%)の下落	44
現金及び現金同等物の増減	▲ 714	510	LME銅(ドル/トン) 4月-6月平均	4,729	6,043	1,314ドル(22%)の下落	5,300

<本資料に含まれる予想については、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる仮定を前提としております。>

2016年度第1四半期連結決算の概要

【連結決算の概要】	【損益の状況】	【その他の損益】
○ 当四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比226億円(32%)減益の484億円となった。 2016年度の親会社の所有者に帰属する当期利益の業績予想1,300億円に対し、進捗率は37%となった。	①売上高... 2兆7,917億円(前年同期比 ▲5,506億円) 石油トレーディング分野等における販売価格の下落。円高の影響は2,100億円程度の減収。主な減収セグメントはエネルギー・金属(▲2,412億円)。 ②売上総利益... 1,586億円(前年同期比 ▲278億円) 下記参照。円高の影響は110億円程度の減益。 ③販売費及び一般管理費... ▲1,258億円(前年同期比 +74億円) 円高の影響は80億円程度の減少。 ④支払利息(受取利息控除後)... ▲45億円(前年同期比 ▲2億円) ・支払利息 ▲82億円(前年同期比 +8億円) ・受取利息 37億円(前年同期比 ▲10億円)	⑤受取配当金... 36億円(前年同期比 ▲14億円) エネルギー案件での減少。 ⑥有価証券損益... ▲3億円(前年同期比 ▲90億円) 前年同期に計上した関連会社株式の売却益の反動等による悪化。 ⑦固定資産損益... 24億円(前年同期比 +54億円) ・固定資産売却損益 24億円(前年同期比 +37億円) ・固定資産評価損 - (前年同期比 +18億円) ⑧その他の損益... 66億円(前年同期比 +87億円) 北米自動車関連事業の売却益計上。 前年同期比は、上記に加え前年同期に計上したウルグアイLNG受入ターミナル事業における損失処理の反動。 ⑨持分法による投資損益... 247億円(前年同期比 ▲57億円) 主な内訳は以下の通り。 ・海外電力IPP事業 87億円(前年同期比 ▲13億円) ・伊藤忠丸紅鉄鋼 21億円(前年同期比 ▲4億円) ・チリ銅事業 ▲9億円(前年同期比 ▲28億円)
※ 参考 主要連結子会社の当社帰属損益 ・Gavilon (食料:85% 化学品:15%) 4億円(前年同期比 ▲5億円) ・Helena (ヘルナ事業:85% 化学品:15%) 108億円(前年同期比 ▲18億円)		

オペレーティング・セグメントの状況	売上総利益			親会社の所有者に帰属する四半期利益			主な増減要因
	当四半期	前年同期	増減	当四半期	前年同期	増減	
生活産業	675	710	▲ 35	149	207	▲ 57	(食料) ・Gavilonの減益 (ライフスタイル、情報・物流・ヘルスケア、保険・金融・不動産) ・前年同期の情報関連事業における関連会社株式売却益計上の反動
素材	562	631	▲ 69	136	170	▲ 33	(ヘルナ事業) ・Helena Chemicalでの円高の影響等による減益 (化学品、紙パルプ) ・チップ・パルプ事業の採算悪化
エネルギー・金属	▲ 10	117	▲ 128	▲ 50	110	▲ 161	(エネルギー) ・LNG分野の採算悪化 ・石油・ガス開発分野における油ガス価格下落等による減益 (金属資源) ・チリ銅事業における持分法による投資損益の悪化 ・前年同期のカナダ石炭事業の清算に伴う法人所得税の戻りの反動
電力・プラント	142	156	▲ 14	135	91	44	(電力) ・前年同期の海外電力IPP事業における持分売却益の反動 (エネルギー・環境インフラ、プラント) ・前年同期のウルグアイLNG受入ターミナル事業における損失処理の反動
輸送機	223	248	▲ 25	140	78	62	・北米自動車関連事業の売却益計上
全社及び消去等	▲ 5	2	▲ 7	▲ 27	55	▲ 81	・法人所得税(年間見積実効税率への調整額)の悪化
連結合計	1,586	1,864	▲ 278	484	710	▲ 226	
資源計				▲ 71	83	▲ 154	
非資源計				555	627	▲ 72	
非資源比率				-	88%	-	

(注)2016年度より、全ての現地法人についてオペレーティング・セグメント毎に分割しております。これに伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を組み替えて表示しております。